

の早期発見と安定給水を図るとともに組織のスリム化をめざします。

## ④下水道整備の推進

### 基本的方向

公共下水道の普及率は、2004年（平成16年）49.8%であったものが、2009年（平成21年）51.7%で、その伸びは鈍化しています。

公共下水道の未整備区域では、生活排水が未処理のまま用水路や排水路に流れ込むため、排出先の周辺地域や下流域にあたる地域では水質汚濁による生活環境の悪化や農作物への影響が生じており、下水道整備の要望が強くなっています。

生活排水などの汚水を適正に処理して公共用水域の水質を保全し、公衆衛生の向上を実現するため、公共下水道の効率的な整備を進めるとともに水洗化の促進を図り、清潔で快適なうるおいのあるまちづくりを推進します。

また、近年集中豪雨などが増加していることから、概成している雨水幹線などを適切に管理、改善し、その能力を十分に発揮することによって浸水被害の防止を図り、安全で安心できるまちづくりを推進します。

### 施策

#### 1) 下水道の整備

汚水の整備区域を拡大し、効率的な整備をおこなうことで普及率の向上を図るとともに、水洗化の促進を図ります。また、概成している雨水幹線の取り込み口の維持管理と改善を適切におこないます。

## ⑤市営住宅の整備

### 基本的方向

まちづくりのさまざまな面において高齢者や障害のある人などへの配慮が不可欠となっています。

しかし、既存の市営住宅には建設から年数がたち、建物の老朽化が激しいものや、高齢者などの生活には不便があるものもあります。このため、老朽化した市営住宅の今後のあり方を検討した住宅の「長寿命化計画」に基づき、適切な予防保全を実施するとともに、だれもが快適で住みやすい、\*バリアフリー化された住宅の供給を推進します。

**施 策****1) 市営住宅の建て替え**

高齢者や障害のある人にとっても快適で使いやすい※バリアフリー化された住宅を供給します。

**2) 市営住宅の維持管理**

市営住宅の改修整備を推進し、耐震化と長寿命化を図ります。

**⑥市街地整備の推進****基本的方向**

泉南市の玄関口である JR 和泉砂川駅周辺のにぎわい創出のため交通処理機能の強化、公共交通機関との円滑な接続、※バリアフリー化への対応などを図り、だれにもやさしく快適な交通結節点としての機能を充実します。また、その他の鉄道駅周辺についても、だれもが安全に安心して利用できる環境の形成促進を図ります。

**施 策****1) 和泉砂川駅周辺整備**

JR 和泉砂川駅周辺について、交通結節機能の向上のための駅前広場の新設や高齢社会に対応した道路などの公共施設の整備を図るとともに、空閑地の高度利用と商店街の活性化を誘導します。

**2) 鉄道駅舎のバリアフリー化**

南海電鉄樽井駅と JR 新家駅について、駅の改札口から各プラットホームまでを結ぶ経路を※バリアフリー化するとともに、この経路と駅構内の施設・設備が一体的に利用できるように※バリアフリー化を促進します。

**⑦景観の形成****基本的方向**

魅力的な景観は、生活環境にうるおいと安らぎを与えてくれるとともに、地域の個性的な景観は訪れる人びとに地域の魅力を感じさせ、交流の促進にも大きな役割を担います。このことから、国においても景観形成を国政上の重要課題として位置づけ「景観法」（「都市、農山漁村等における良好な景観の形成を促進するための法律」）が 2004